

県立高等学校将来構想審議会資料

平成20年7月

宮城県教育庁教育企画室

高校教育をめぐる現状

近年の出生率の低下は、中学校卒業業者数の急速な減少として現れており、毎年県立高校の収容定員の見直しがなされている。経済のグローバル化や情報化の進展による、社会の大きな変化は、産業構造や雇用形態の変化をもたらす高校卒業後の進路は以前にくらべて複雑・多様化している。こうした環境変化に適切に対応するため、今後の高校教育のあり方や教育サービスの供給体制の在り方について整理検討が必要である。

< 社会環境の現状 >

少子化による人口構成の変化

1970年代以降の出生率の低下によって、子供の数は減少傾向が続いており、本県の生産年齢人口は平成11年を境に、総人口は平成16年1月を境に人口減少期に突入した。特に第2次ベビーブーム(昭和46年～49年)以降は、少子化のスピードが速く、平成12年～22年の10年間で15歳～19歳までの5歳階級別人口は、3割近く減少することが予想されている。

産業構造の変化

本県の産業構造は、電気機械・食品製造業を中心とした製造業と土木工事などの建設業と卸売・小売業やサービス産業などが中核となっており、近年ますます第3次産業の比率が高まっている。

製造業においては、経済のグローバル化にともない組立型製造業の分野で海外移転が一時進んだが、国内拠点工場の分散配置や人材確保のために近年再び県内への製造業の進出が活発になっており、自動車や半導体製造装置製造業などの高付加価値型の製造業の立地が決定している。

中学校卒業業者数の減少

平成元年にピークを迎えた中卒者数は、平成9年ごろから減少しつづけており、平成32年には平成元年の3分の2以下までに減少する見込。

県内の一部の地域によっては、平成32年の中卒見込者数が現状(平成20年)の約6割～7割程度までに減少する見込。

大学進学志望者の全入時代の到来

大学定員数が志望者数を上回るいわゆる全入時代が到来し、大学間の学生獲得にむけた競争が激しくなっている。

AO入試など早期に合否が決まることによって基礎学力が低下し入学した生徒の成績低下が問題となりAO入試をやめる大学も出てきている。

日本型雇用慣行の大きな変化

2007年に団塊世代の退職が始まり多くの企業で人手が不足し採用を活発にさせつつある。

終身雇用・年功序列といった雇用慣行、雇用の流動化が進み、非正規雇用の全労働者に占める割合が増加している。

雇用に比べて働き方の自由度が高まる一方で、能力や実績がこれまで以上に重視され自己責任が強く求められる。

- 県立高等学校の今後のあり方について -

今後の高校教育に求められるもの

社会の変化や生徒の多様化に対応した学校・学科構成等の在り方

生徒数減少に対応した高校配置の在り方

< 学校の現状 >

高校の小規模化

本県では、入学者数の減少による学級減により、一学校あたりの学級規模が小規模化しており、3学級に満たない学校が増えつつある。

参考資料: 2 - (3)

高卒者の就職状況

本県の職業系専門高校卒業者の就職状況を見ると学んだ専門分野と関係のない分野へ就職するケースも少なくない。

普通科高校の卒業者の2割近くが就職しており、これは、高卒就職者全体の4割以上を占めている。

参考資料: 2 - (5)

進路指導のニーズ

文部科学省による「中学校・高等学校における進路指導に関する総合の実態調査」(H17)によると、生徒及び卒業生の多くが、自己理解や将来の生き方、あるいは社会参加にかかわる知識や資質に関する学習を求めているとの調査結果が出ている。

参考資料: 4 - (1)

大学進学率の状況

本県高校卒業者の現役進学率は全国平均に比べ約10ポイント低く推移。また、現役進学達成率も、全国で40位(H19)と低位に位置している。

参考資料: 3 - (2)

就職・離職率の状況

本県の新規高卒者の就職内定率は全国平均並みとなったが、離職率は依然として全国平均を上回る水準で推移している。

参考資料: 3 - (3)

意欲の問題

財団法人日本青少年研究所による「高校生の意欲に関する調査」(H19)では、日本の高校生は米中韓の高校生よりも「高い学歴を得る」意欲が低いなど、米中韓に比べ、明確な目標を持っていない高校生が多い結果が出ている。

参考資料: 4 - (3)

学力低下の懸念

本県の高校1年生では、家庭学習をしない生徒が約4割占めている。家庭における学習時間に関する調査では全国に比べ勉強時間が短い。

参考資料: 4 - (2)

学校と地域の協働

技術や経営の高度化が進んでおり、専門技術に関しては、学校だけでは、十分対応できない場合も多くなっている。本県においては、職業系専門高校を中心に学校と地域企業が連携し生徒への技術指導等の取組みが進んでいる。

参考資料: 4 - (4)

開かれた学校運営

本県では、学校の教育活動について、自ら点検・評価し、その結果と改善の方策を設置者へ報告するとともに、広くその公開を進めている。また、学校関係者評価を行うため、学校評議員の活用を推進している。

参考資料: 1 - (2)

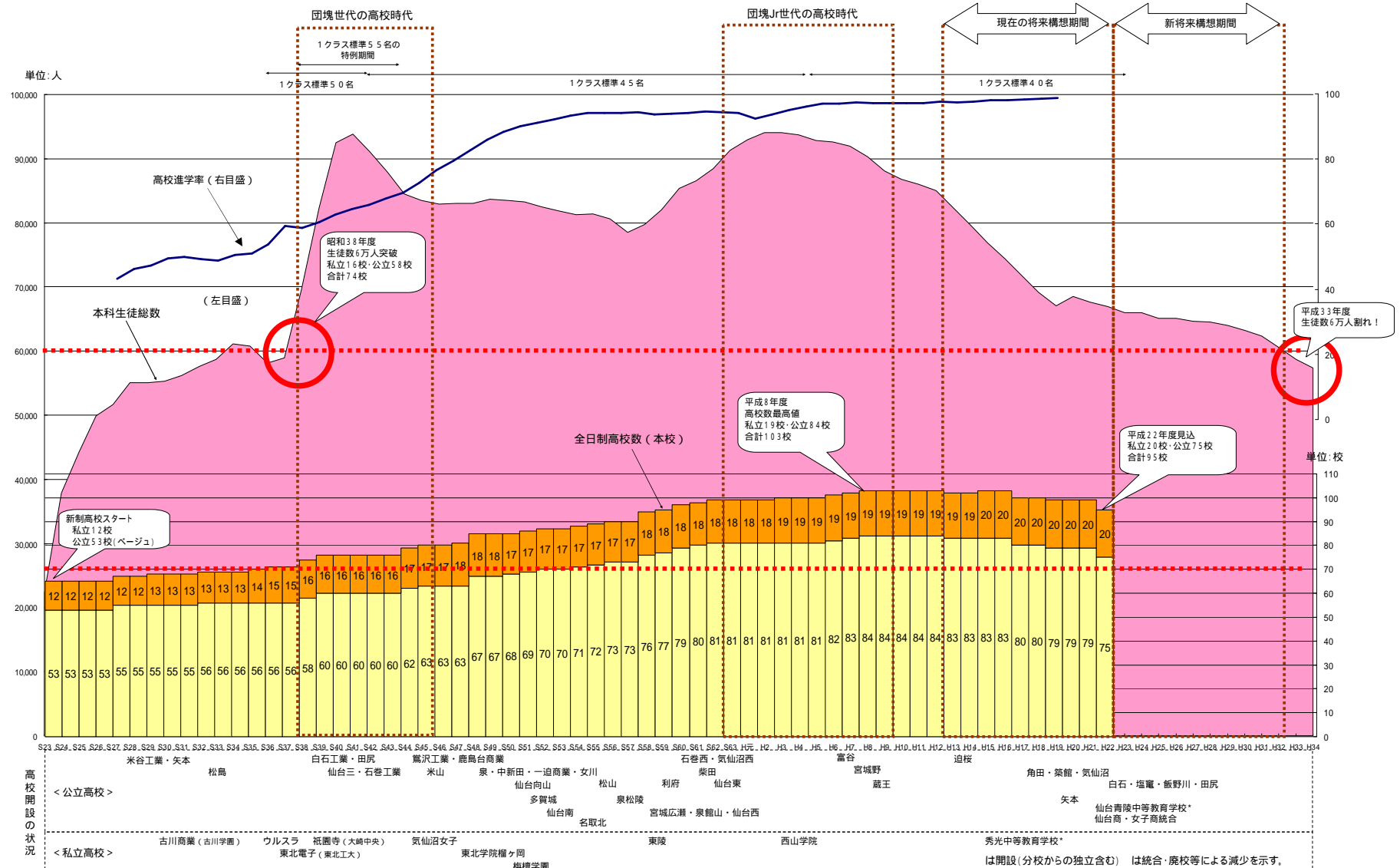
外部環境

内部環境

1. 本県における高校改革の現状

(1) 本県における高校設置の推移

宮城県の高校生生徒数・全日制高校（本校）数・高校進学率の推移（昭和23年度～平成34年度）



データ出典: 学校基本調査

注: H20年度以降の生徒数については、平成20年度～28年度は学校基本調査(平成19年5月1日現在)における県内小中学生の各学年の在籍者数、平成29年以降は住民基本台帳を基にした平成19年4月1日現在の年齢別乳幼児数におきかえた数値。

1. 本県における高校改革の現状

(2) 現県立高校将来構想の推進状況

県立高校将来構想に基づく事業・再編の推移 (H13～22年度)

H13 H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22

県立高校将来構想公表 (H13.3)

後期再編計画公表 (H16.3)

産業教育審議会答申 (H18.2)
入選審議答申 (H18.2)

全県一学区施行

魅力ある高校づくり

- ・特色ある学科の設置
- ・全日制高校の充実
- ・定時制及び通信制高校の充実
- ・中高一貫教育及び中高連携教育の推進
- ・多様な個性や特性に対応した教育の推進

高校教育充実支援事業
学校活性化プロポーザル事業
学校いきいき夢プラン事業
myプラン事業
個性輝く高校づくり事業

追桜開校
飯野川・加美農学科転換
黒川学科転換
石巻工・米谷工学科転換
南郷・古川工・鷺沢工学科転換
米山学科転換
上沼・柴田農林・石巻商学科転換
東松島開校
古川黎明・古川黎明中学開校
志津川連携型中高一貫開始
田尻さくら高校開校
河南高校総合学科に転換
黒川高校学科転換

MAPの推進

昼夜多部・単位制高校
1校 3校

中高一貫教育校
3校(併設型・連携型)

開かれた学校づくり

- ・学校評議員制度の導入
- ・学校の自己点検・自己評価システムの導入
- ・生徒による授業評価の充実
- ・学校自由見学日の設定
- ・学校施設の開放
- ・その他開かれた学校づくりに向けた取組み

宮城県立学校評議員制度の運用方針
学校評価支援システムの導入
学校関係者評価

学校評議員制度導入率
100%

学級減及び学校再編

(前期再編計画) 角田・角田女子 統合
栗原農業・若柳 統合
築館 統合
築館潮峰校 統合
築館女子 統合
矢本高校(全日・定時) 統合
石巻(定時) 統合
石巻女子(定時) 統合
気仙沼・鼎が浦 統合
追桜高校開校

(後期再編計画) 白石・白石女子 統合
田尻 昼夜間開講型単位制
白石(定時制) 統合
大河原商業(定時制) 統合
角田・角田女子統合
築館・築館女子統合
東松島高校開校(再掲)
気仙沼・鼎が浦統合
大河原商業定時制2クラス化
田尻さくら高校開校(再掲)
白石・白石女子統合
塩釜・塩釜女子統合

小規模校の再編基準

全日制公立高校数
83校 75校

定時制独立高校数
4校 6校

全日制公立高校学級数
492学級 405学級

H20年5月1日現在

男女共学化の推進

古川共学化
石巻共学化
石巻女子共学化
石巻商業共学化
仙台第二共学化
石巻好文館
宮城第一女子共学化
宮城第一
仙台第三共学化
宮城第一共学化
宮城第二女子共学化
二華
宮城第三女子共学化

男女別学率
28.6% 0%

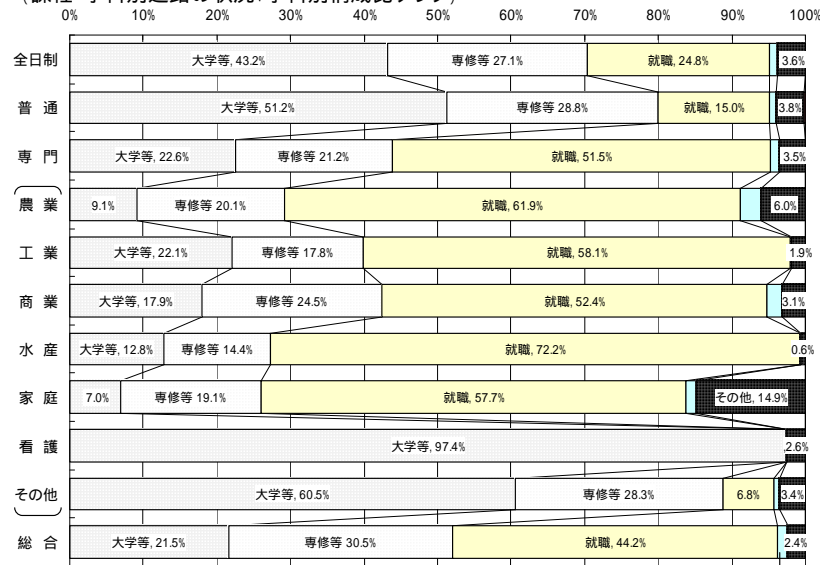
県立高校将来構想4つの基本方針

県立高校将来構想
の実施結果

3. 本県高校生の進路の状況

(1) 学科別の卒業後の進路

(課程・学科別進路の状況: 学科別構成比グラフ)



(課程・学科別進路の状況: 実数)

(単位: 人)

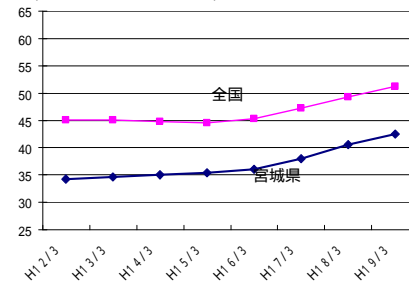
区分	計	大学等進学者					専修学校等	就職	一時的な仕事	その他	不明	大学等進学率
		大学	短大	専攻科	専修	専修						
高等学校卒業生数	22,941	9,762	8,867	843	52	6,152	5,774	350	886	17	42.6%	
全日制	22,530	9,743	8,850	842	51	6,095	5,596	258	822	16	43.2%	
普通科	16,290	8,344	7,642	702		4,693	2,445	177	615	16	51.2%	
専門学科	5,418	1,222	1,075	96	51	1,151	2,788	70	187		22.6%	
農業	701	64	52	12		141	434	20	42		9.1%	
工業	1,880	415	398	17		334	1,093	3	35		22.1%	
商業	1,848	331	291	40		452	969	39	57		17.9%	
水産	180	23	6	4	13	26	130		1		12.8%	
家庭	215	15	6	9		41	124	3	32		7.0%	
看護	39	38			38				1		97.4%	
その他(理数科等)	555	336	322	14		157	38	5	19		60.5%	
総合学科	822	177	133	44		251	363	11	20		21.5%	
定時制	411	19	17	1	1	57	178	92	64	1	4.6%	
普通科	317	17	16	1		44	133	71	51	1	5.4%	
専門学科	94	2	1		1	13	45	21	13		2.1%	
農業												
工業	81	1			1	12	40	15	13		1.2%	
商業	13	1	1		1	5	6		6		7.7%	

(データ出典: H19学校基本調査)

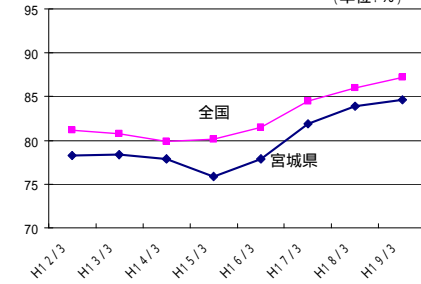
大学・短大の通信教育部・別科(5名)含む

(2) 大学等現役進学率・進学達成率の推移

(大学等現役進学率) (単位: %)



(大学等現役達成率) (単位: %)

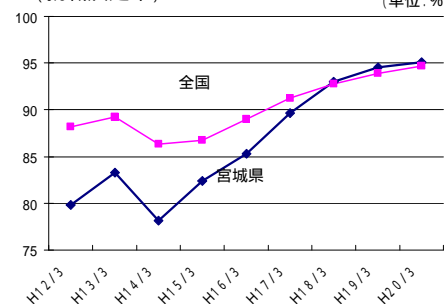


区分	H12年3月	H13年3月	H14年3月	H15年3月	H16年3月	H17年3月	H18年3月	H19年3月	
大学等現役進学率	宮城県	34.2%	34.6%	35.0%	35.4%	36.1%	37.9%	40.5%	42.6%
	全国	45.1%	45.1%	44.8%	44.6%	45.3%	47.3%	49.3%	51.2%
	差	-10.9%	-10.5%	-9.8%	-9.2%	-9.2%	-9.4%	-8.8%	-8.6%
	全国順位	43	43	41	41	40	39	35	
大学等現役進学達成率	宮城県	78.4%	78.4%	77.9%	75.9%	77.9%	81.9%	83.9%	84.6%
	全国	81.2%	80.8%	79.9%	80.1%	81.5%	84.5%	86.0%	87.2%
	差	-2.9%	-2.4%	-2.0%	-4.2%	-3.6%	-2.6%	-2.1%	-2.6%
	全国順位	42	40	41	44	42	42	40	40

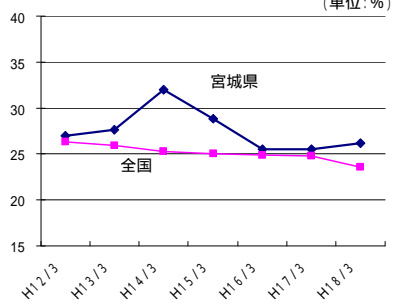
(データ出典: H19学校基本調査)

(3) 高卒者の就職決定率・就職後1年以内の離職率の推移

(就職決定率) (単位: %)



(離職率) (単位: %)

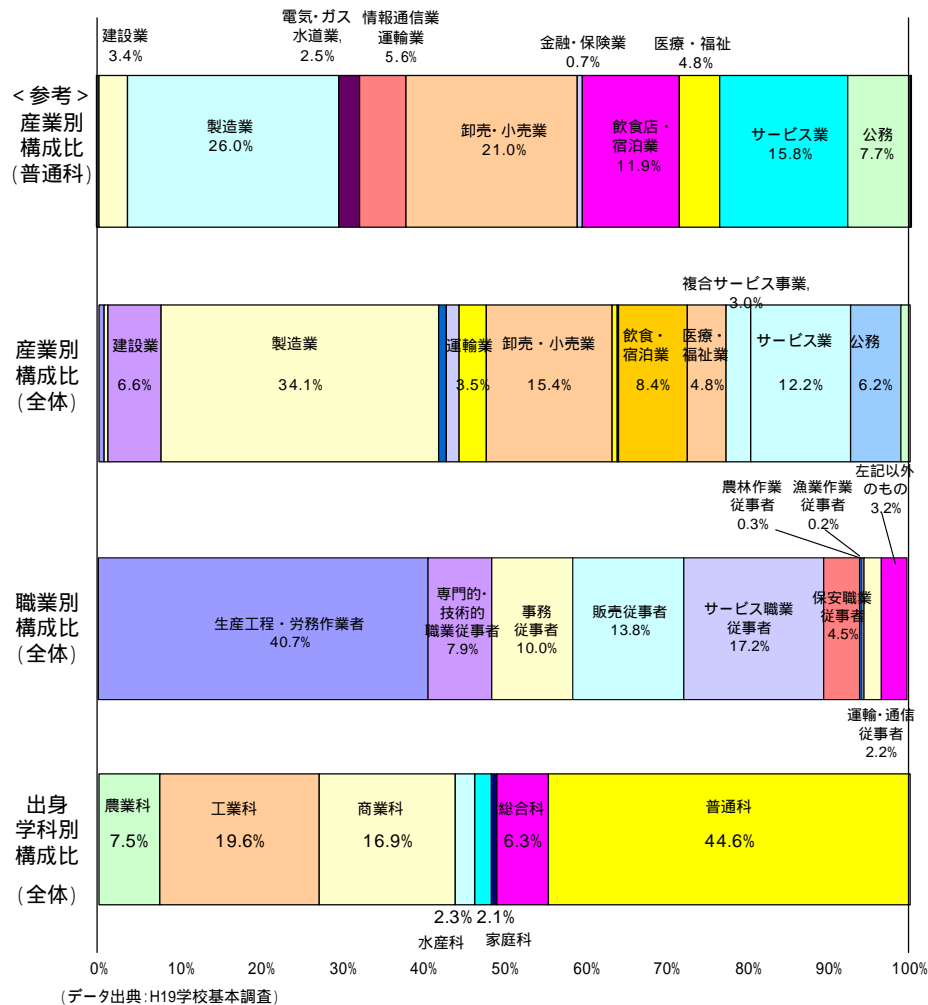


区分	H12年3月	H13年3月	H14年3月	H15年3月	H16年3月	H17年3月	H18年3月	H19年3月	H20年3月	
就職決定率	宮城県	79.8%	83.3%	78.1%	82.4%	85.3%	89.6%	93.0%	94.5%	95.1%
	全国	88.2%	89.2%	86.3%	86.7%	89.0%	91.2%	92.8%	93.9%	94.7%
1年以内の離職率	宮城県	27.0%	27.6%	32.0%	28.8%	25.5%	25.5%	26.2%		
	全国	26.3%	25.9%	25.3%	25.0%	24.9%	24.8%	23.6%		

(データ出典: 就職決定率 - 文部科学省調査 1年以内の離職率 - 厚生労働省職業安定局調査)

(4) 高卒者の就職状況

(H19年3月卒の高卒者のうち就職した約5,800名の内訳)



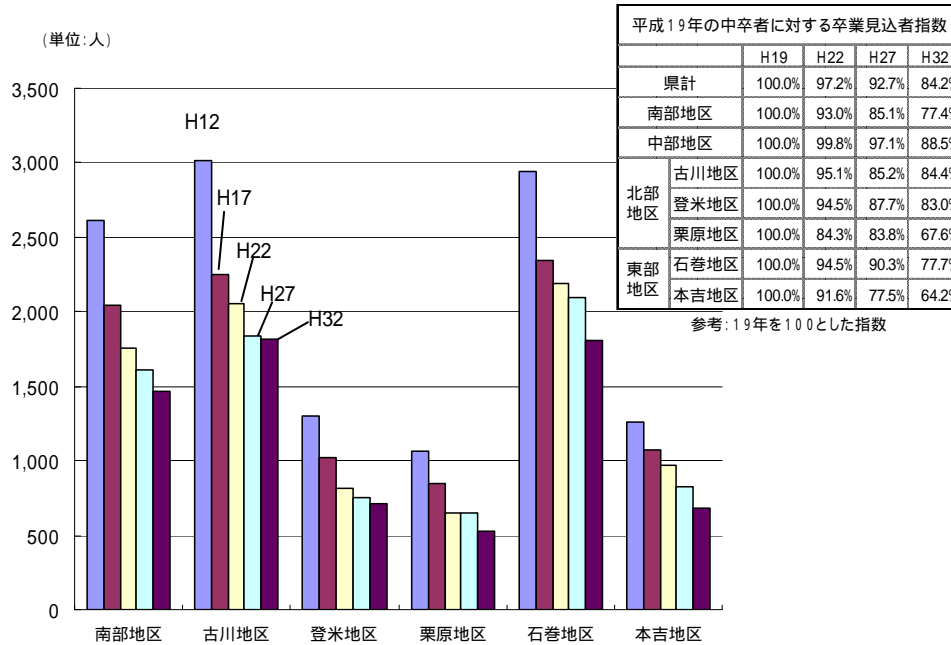
(5) 専門学科(全日制・公立)の学科別学級数および定員数の推移

学科区分	H13		H19		学級数 増減	H19 学科数
	学級数	定員数	学級数	定員数		
普通科	302	12,080	252	10,080	-50	58
普通科(市立)	14	560	13	520	-1	2
その他の学科	15	600	12	480	-3	8
総合学科	23	920	21	840	-2	6
専門学科						
農業に関する学科	22	880	21	840	-1	10
工業に関する学科	43	1,720	37	1,480	-6	11
工業に関する学科(市立)	6	240	6	240	0	1
商業に関する学科	27	1,080	24	960	-3	10
商業に関する学科(市立)	18	720	18	720	0	3
水産に関する学科	5	200	5	200	0	2
家庭に関する学科	6	240	4	160	-2	4
看護に関する学科	2	80	1	40	-1	1
合計	483	19,320	414	16,560	-69	116
構成比						
普通科	68.5%	68.5%	66.9%	66.9%		58.6%
総合学科	4.8%	4.8%	5.1%	5.1%		5.2%
専門学科	26.7%	26.7%	28.0%	28.0%		36.2%

(データ出典: H19学校統計要覧)

2. 高校の小規模化

(1) 中部地区を除く地区別の今後の中学校卒業生数の推移



(2) 各地区の中学校卒業生数の推移・将来予測

年度	H12	H17		H22		H27		H32		H12 増減見込数	H22 増減見込数	
		5年間の 増減比	5年間の 増減比	5年間の 増減比	5年間の 増減比	5年間の 増減比						
中部地区	17,404	14,789	-15.0%	14,385	-2.7%	13,988	-2.8%	12,756	-8.8%	-3,019	-1,629	
南部地区	2,611	2,042	-21.8%	1,760	-13.8%	1,611	-8.5%	1,465	-9.1%	-851	-295	
北部地区	古川地区	3,011	2,251	-25.2%	2,053	-8.8%	1,839	-10.4%	1,821	-1.0%	-958	-232
登米地区	1,306	1,017	-22.1%	814	-20.0%	755	-7.2%	715	-5.3%	-492	-99	
栗原地区	1,063	849	-20.1%	655	-22.9%	651	-0.6%	525	-19.4%	-408	-130	
東部地区	石巻地区	2,946	2,341	-20.5%	2,192	-6.4%	2,093	-4.5%	1,803	-13.9%	-754	-389
本吉地区	1,260	1,077	-14.5%	974	-9.6%	824	-15.4%	682	-17.2%	-286	-292	
中部地区 以外計	12,197	9,577	-21.5%	8,448	-11.8%	7,773	-8.0%	7,011	-9.8%	-3,749	-1,437	
県計	29,601	24,366	-17.7%	22,833	-6.3%	21,761	-4.7%	19,767	-9.2%	-6,768	-3,066	

(データ出典:平成22年度・27年度は学校基本調査(平成19年度5月1日)における各学年の在籍者数、平成32年度以降は住民基本台帳に基づく平成19年4月1日時点の該当年齢の乳幼児数)

(3) 各地区の今後の学級数見込みと学級規模別学校数

年度	H12			H19			H22		H27		H32		
	学校数	学級数	1校当たり 平均	学校数	学級数	1校当たり 平均	学級数	1校当たり 平均	学級数	1校当たり 平均	学級数	1校当たり 平均	
県計	88	492	5.6	80	412	5.2	398	5.0	377	4.7	342	4.3	
(中部地区以外計)	55	253	4.6	49	204	4.2	190	3.9	175	3.6	158	3.2	
南部地区	12	58	4.8	11	46	4.2	43	3.9	39	3.6	36	3.2	
中部地区	33	239	7.2	31	208	6.7	208	6.7	202	6.5	184	5.9	
北部地区	古川地区	12	59	4.9	12	48	4.0	46	3.8	41	3.4	41	3.4
登米地区	5	27	5.4	5	19	3.8	18	3.6	17	3.3	16	3.2	
栗原地区	8	25	3.1	5	19	3.8	16	3.2	16	3.2	13	2.6	
東部地区	石巻地区	12	61	5.1	11	51	4.6	48	4.4	46	4.2	40	3.6
本吉地区	6	23	3.8	5	21	4.2	19	3.8	16	3.3	13	2.7	
学級規模 別学校数	9学級	6		0									
8学級	16		6										
7学級	11		16										
6学級	14		14										
5学級	11		16										
4学級	11		11										
3学級	15		10										
2学級	1		7										
1学級	3		0										
合計	88		80										

(データ出典:H19学校基本調査)

平成22年度以降の学級数は平成19年度の地区毎の生徒数に対する今後の中卒者見込数の減少率を平成19年度の地区毎の学級数に乗じて算出している。

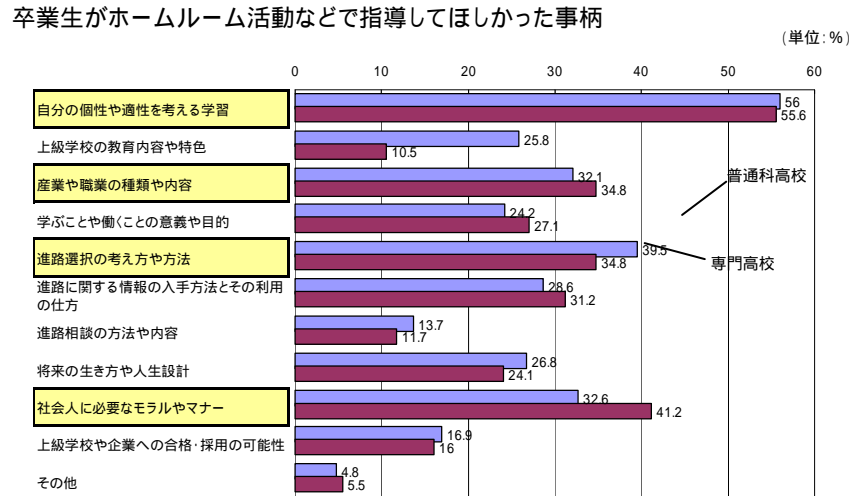
(4) 中学校卒業生の進路の状況

区 分	H13年3月卒		H19年3月卒		
中卒者計	28,560	100.0%	23,416	100.0%	
高等学校等進学者	27,787	97.3%	23,106	98.7%	
高等学校進学者	27,537	96.4%	22,562	96.4%	
全日制	26,531	92.9%	21,894	93.5%	
4-月 入 学 者 数 同 年 参 考 数	公立	19,162	67.1%	15,943	68.1%
県立	17,633	61.7%	14,587	62.3%	
市立	1,529	5.4%	1,356	5.8%	
私立	7,511	26.3%	6,109	26.1%	
定時制	491	1.7%	453	1.9%	
入-学 者 数 同 年 参 考 数	公立	607	2.1%	522	2.2%
県立	446	1.6%	424	1.8%	
市立	398	1.4%	98	0.4%	
通信制	250	0.9%	215	0.9%	
(うち他県への進学者)	483	1.7%	405	1.7%	
高等専門学校進学者	360	1.3%	333	1.4%	
特別支援学校高等部	155	0.5%	210	0.9%	
専修学校進学者	15	0.1%	9	0.0%	
公共職業能力開発施設等入学者	43	0.2%	11	0.0%	
就職者	194	0.7%	76	0.3%	
その他・死亡	520	1.8%	214	0.9%	

(データ出典:H19学校基本調査)網掛部は学校統計要覧による同年の高校入学者数であり別統計につき合計は合わない。

4. その他高校教育に関するデータ

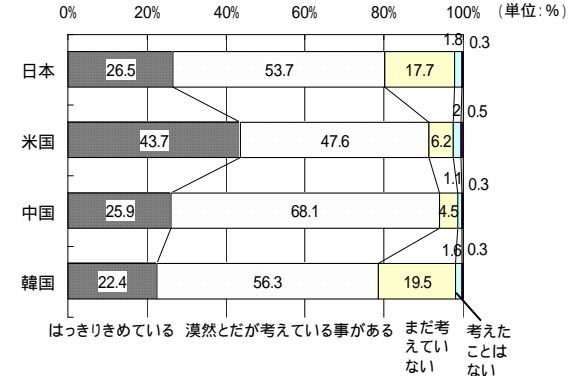
(1) 中学校・高等学校における進路指導に関する総合的実態調査



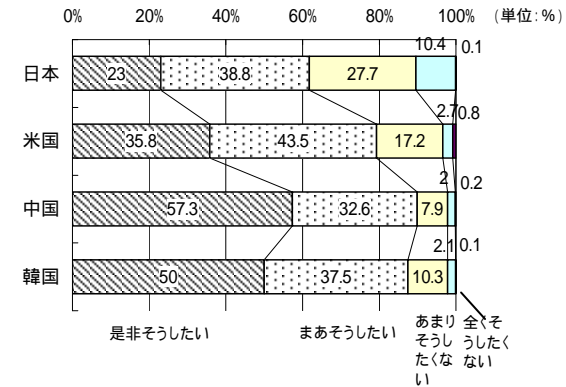
(データ出典 「中学校・高等学校における進路指導に関する総合的実態調査」
財団法人日本進路指導協会が文部科学省の受託し実施したもの。(平成17年2月～3月)

(2) 高校生の意欲に関する調査

自分の将来の目標をはっきり決めていますか？ (単位: %)



高い学歴を得たい (単位: %)



「偉くなることについて」

日本: 「責任が重くなる」「自分の時間がなくなる」
 米国: 「自分の能力をより発揮できる」「周りに尊敬される」
 中国: 「自分の能力をより発揮できる」「責任が重くなる」
 韓国: 「周りに尊敬される」「自分の能力をより発揮できる」

将来就きたい職業

日本: 「営業・販売・サービス職」
 米国: 「医師」「デザイナー」「スポーツ選手や歌手」
 中国: 「会社・企業の経営、管理職」「公務員」「法律家」
 韓国: 「小中高校の教師」「会社・企業の経営、管理職」「デザイナー」

(データ出典「高校生の意欲に関する調査」財団法人日本青少年研究所)
(平成18年10月～12月に実施)

(3) みやぎ学力状況調査

平日に家庭等で学習時間を確保している生徒の割合(高校一年生)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
勉強する割合	61.5%	63.0%	64.8%	65.9%
2時間以上	13.4%	13.7%	12.5%	13.1%

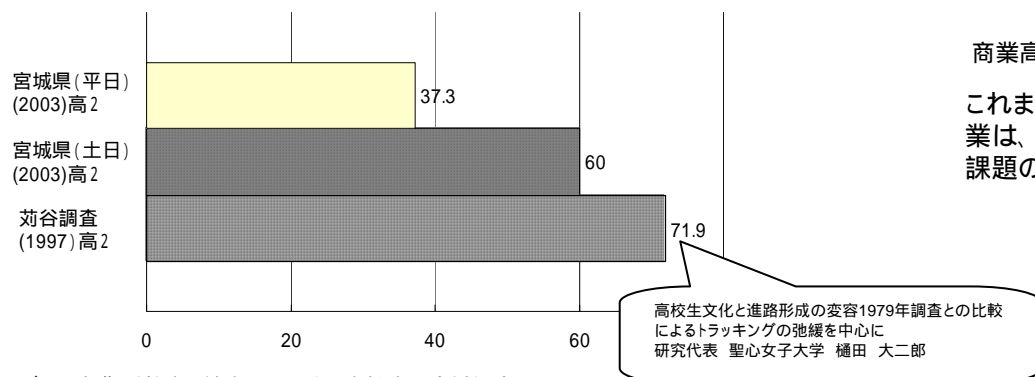
授業が分かると答える生徒の割合(高校一年生)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
授業分かる割合	38.9%	37.2%	38.7%	41.0%

(4) 教育と社会にたいする高校生の意識調査(第5次)

学校外学習時間の比較

(単位:分)

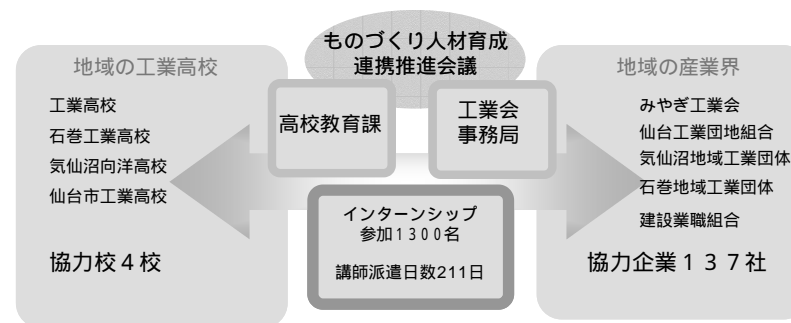


(データ出典「教育と社会にたいする高校生の意識調査」東北大学教育文化研究会が仙台圏の高校2年生および保護者に実施しているもの(第5次は平成15年11月~12月実施))

(5) 学校と地域の協働事例

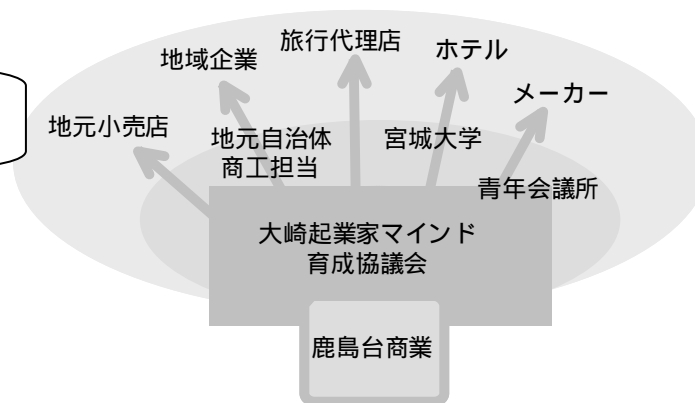
工業高校と地域の製造業・建設業と地域の連携事例(クラフトマン21)

文科省と経産省の協働による工業高校と地域の産業界の連携を進めるモデル事業の採択を受け、県内4つの工業高校の実技指導やインターンシップに100社以上の県内企業が支援をおこなっている。(H19~)



商業高校と地域企業・経済団体と地域の連携事例

これまでアントレプレナーシップ(起業家精神)教育を進めてきた鹿島台商業は、これまで構築したネットワークを活用し、地域企業の抱える具体的課題の解決策を提案するなど実践的な学習を展開している。(H15~)



5. 本県における高校の設置状況
 (1) 県全体の高校の設置状況

H19年5月1日現在の学校・学級数及び生徒数

		学校数			入学 定員数	生徒数 (1年生)	学級数	学科別学級数				
		計	本校	分校				普通科	専門学科	総合学科		
県計	全日制	県立	74	73	1	15,080	14,649	375	252	87	21	
		市立	6	6		1,400	1,362	35	13	17		
		私立	19	19		7,665	6,157	174	156	18		
	計	99	98	1	24,145	22,168	584	421	122	21		
	定時制	県立	11	9	2	840	432	21	17	4		
		市立	2	2		160	102	4	2	2		
		計	13	11	2	1,000	534	25	19	6		
	通信制	県立	1	1		500	313					
		私立	1	1		175	99					
		計	2	2		675						
計	県立	85	82	3	16,420	15,394	396	269	91	21		
市立	8	8		1,560	1,464	39	15	19				
私立	19	19		7,840	6,256	174	156	18				
全県計	112	109	3	25,820	23,114	609	440	128	21			
南部地区	全日制	県立	11	10	1	1,840	1,760	44	21	18	7	
		私立	1	1		70	23	1	1			
		計	12	11	1	1,910	1,783	45	22	18	7	
	定時制	県立	2	1	1	120	44	3	3			
		私立	2	1	1	120	44	3	3			
		計	4	2	2	240	88	6	6			
	地区計	14	12	2	2,030	1,827						
	中部地区	全日制	県立	12	12		3,280	3,289	82	62	20	2
			市立	1	1		240	240	6		6	
			計	13	13		3,520	3,529	88	62	26	
定時制		県立	2	2		120	49	3	1	2		
		市立	2	2		160	102	4	2	2		
		計	4	4		280	151	7	3	4		
地区計		15	15		4,040	4,020	101	85	14	2		
北部地区		全日制	県立	3	3		760	765	19	8	11	
			私立	18	18		4,800	4,785	120	93	25	2
			計	21	21		5,560	5,550	139	101	36	
	定時制	県立	1	1		160	152	4	4			
		私立	1	1		160	152	4	4			
		計	2	2		320	304	8	8			
	地区計	23	23		6,140	6,086	147	113	41			
	石巻	全日制	県立	9	9		1,640	1,593	41	24		
			市立	2	2		400	357	10	5		
			計	11	11		2,040	1,950	51	29		
定時制		県立	2	1	1	160	129	4	4			
		私立	2	1	1	160	129	4	4			
		計	4	2	2	320	258	8	8			
地区計		15	13	2	2,360	2,208	59	33				
本吉		全日制	県立	5	5		840	795	21	13	4	4
			私立	2	2		240	224	6	6		
			計	7	7		1,080	1,019	27	19	4	4
	定時制	県立	1	1		40	40	1	1			
		私立	1	1		40	40	1	1			
		計	2	2		80	80	2	2			
	地区計	9	9		1,160	1,103	29	20	4	4		
	その他	全日制	県立	27	27		4,305	3,662				
			市立	9	9		1,640	1,593	41	24		
			計	36	36		5,945	5,255	41	24		
定時制		県立	5	5		760	666	19	12	7	5	
		私立	5	5		760	666	19	12	7	5	
		計	10	10		1,520	1,332	38	24	12	10	
地区計		46	46		6,825	6,047	79	48	19	10		
地区計		全日制	県立	50	50		15,490	14,103				
			市立	12	12		1,920	1,839	48	26	19	3
			計	62	62		17,410	15,942	48	26	19	3
	定時制	県立	2	2		2,545	2,263	61	36	22	3	
		私立	2	2		2,000	2,000	5	3	2		
		計	4	4		4,545	4,263	66	39	24	3	
	地区計	66	66		20,035	18,205	114	65	43	6		
	全県	全日制	県立	14	14		6,730	5,486	154	139	15	
			市立	50	50		15,490	14,103				
			計	64	64		22,220	19,589	154	139	15	
定時制		県立	12	12		3,280	3,289	82	62	20	2	
		市立	1	1		240	240	6		6		
		計	13	13		3,520	3,529	88	62	26		
地区計		77	77		25,740	23,118	242	199	41	2		
全県		全日制	県立	11	10	1	1,840	1,760	44	21	18	7
			市立	1	1		70	23	1	1		
			計	12	11	1	1,910	1,783	45	22	18	7
	定時制	県立	2	1	1	120	44	3	3			
		私立	2	1	1	120	44	3	3			
		計	4	2	2	240	88	6	6			
	地区計	14	12	2	2,030	1,827						
	全県	全日制	県立	12	12		3,280	3,289	82	62	20	2
			市立	1	1		240	240	6		6	
			計	13	13		3,520	3,529	88	62	26	
定時制		県立	2	2		120	49	3	1	2		
		市立	2	2		160	102	4	2	2		
		計	4	4		280	151	7	3	4		
地区計		17	17		4,040	4,020	101	85	14	2		
全県		全日制	県立	3	3		760	765	19	8	11	
			私立	18	18		4,800	4,785	120	93	25	2
			計	21	21		5,560	5,550	139	101	36	
	定時制	県立	1	1		160	152	4	4			
		私立	1	1		160	152	4	4			
		計	2	2		320	304	8	8			
	地区計	23	23		6,140	6,086	147	113	41			
	全県	全日制	県立	9	9		1,640	1,593	41	24		
			市立	2	2		400	357	10	5		
			計	11	11		2,040	1,950	51	29		
定時制		県立	2	1	1	160	129	4	4			
		私立	2	1	1	160	129	4	4			
		計	4	2	2	320	258	8	8			
地区計		15	13	2	2,360	2,208	59	33				
全県		全日制	県立	5	5		840	795	21	13	4	4
			私立	2	2		240	224	6	6		
			計	7	7		1,080	1,019	27	19	4	4
	定時制	県立	1	1		40	40	1	1			
		私立	1	1		40	40	1	1			
		計	2	2		80	80	2	2			
	地区計	9	9		1,160	1,103	29	20	4	4		
	全県	全日制	県立	27	27		4,305	3,662				
			市立	9	9		1,640	1,593	41	24		
			計	36	36		5,945	5,255	41	24		
定時制		県立	5	5		760	666	19	12	7	5	
		私立	5	5		760	666	19	12	7	5	
		計	10	10		1,520	1,332	38	24	12	10	
地区計		46	46		6,825	6,047	79	48	19	10		
全県		全日制	県立	14	14		6,730	5,486	154	139	15	
			市立	50	50		15,490	14,103				
			計	64	64		22,220	19,589	154	139	15	
	定時制	県立	12	12		3,280	3,289	82	62	20	2	
		市立	1	1		240	240	6		6		
		計	13	13		3,520	3,529	88	62	26		
	地区計	77	77		25,740	23,118	242	199	41	2		

データ出典: 学校統計要覧他

19年度より募集停止となっている2つの分校は含まない、
 私立高校の一部の学級数は生徒数をもとに算出

